

平成 27 年度 後期学校評価報告

保護者の皆様にもご協力いただき、後期の「よりよい学校をつくるためのアンケート」調査を行いました。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力をいただきありがとうございます。

今回のアンケートも前期と同様に、学校教育目標に照らし合わせ、「生活に関するここと」「学習に関するここと」の二つの視点で調査をしました。また、「児童」「保護者」「教職員」それぞれの立場での自己評価という形でアンケートを行いました。

前期とも比較しながら現状を把握し、一年間の取組の評価として分析・考察をしましたので報告いたします。

アンケート結果集計 () は前期 %

子どもたちの生活を よりよいものに 自らを振り返り、 互いに高め合う			1そう思う			2だいたいそう思う			3あまりそう思わない			4そう思わない		
			児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
生活面	1	自分から挨拶ができている。	52 (50)	37 (33)	80 (43)	41 (45)	57 (62)	20 (57)	5 (2)	4 (5)	0 (0)	2 (2)	2 (0)	0 (0)
	2	友達を大切にし、仲良くしている。	67 %	35 %	33 %	31 %	60 %	56 %	2%	4%	11 %	0%	2%	0%
	3	先生に相談する。	37 %	32 %	30 %	32 %	55 %	70 %	24 %	9%	0%	7%	4%	0%
	4	学習の準備ができている。	35 (35)	21 (19)	30 (22)	43 (42)	64 (67)	70 (67)	16 (16)	14 (13)	0 (11)	6 (6)	2 (1)	0 (0)
	5	係や仕事を最後までできている。	69 (68)	9 (6)	60 (27)	27 (27)	55 (43)	40 (64)	3 (3)	31 (48)	0 (9)	1 (2)	5 (2)	0 (0)
	6	はきものは、そろえている。	62 %	19 %	50 %	26 %	55 %	50 %	7%	20 %	0%	5%	6%	0%
	7	子どもの良さ。	39 (40)	28 (28)	50 (33)	33 (32)	60 (61)	50 (67)	20 (19)	10 (11)	0 (0)	8 (9)	2 (1)	0 (0)
学習面	8	授業がよくわかる。	63 %	21 %	33 %	31 %	61 %	67 %	3% (3%)	15 %	0%	3%	4%	0%
	9	授業中、話をしっかりと聞く。	52 (49)	26 (24)	78 (40)	34 (34)	62 (62)	22 (60)	12 (13)	10 (13)	0 (0)	3 (4)	2 (1)	0 (0)
	10	授業中、発表している。	31 (32)	10 (14)	56 (22)	40 (37)	51 (44)	44 (78)	21 (21)	35 (38)	0 (0)	8 (11)	4 (4)	0 (0)
	11	家庭学習や宿題をしている。	51 (59)	31 (38)	33 (22)	35 (29)	59 (55)	67 (78)	9 (10)	7 (7)	0 (19)	5 (2)	3 (0)	0 (19)
	12	本をよく読んでいる。	45 %	32 %	22 %	30 %	45 %	67 %	17 %	19 %	11 %	9%	4%	0%
	13	稻荷地域のことが好きである。	65 (59)	6 (5)	22 (0)	22 (23)	43 (39)	67 (33)	8 (16)	46 (50)	11 (67)	5 (2)	5 (6)	0 (0)

アンケート集計より

「挨拶」や「友達となかよくする」・「授業がよくわかる」については、今回のアンケートでも三者とも 9 割近くが「そう思う」「だいたいそう思う」と回答していました。さらに、自分から挨拶ができていると感じている教職員がふえました。朝から子どもたちの低学年を中心に元気な挨拶の声が聞こえてきています。高学年も声は小さいですが自分から挨拶をする子が増え

てきています。朝だけでなく下校の時に地域でも挨拶ができるようにしていきたいと思います。

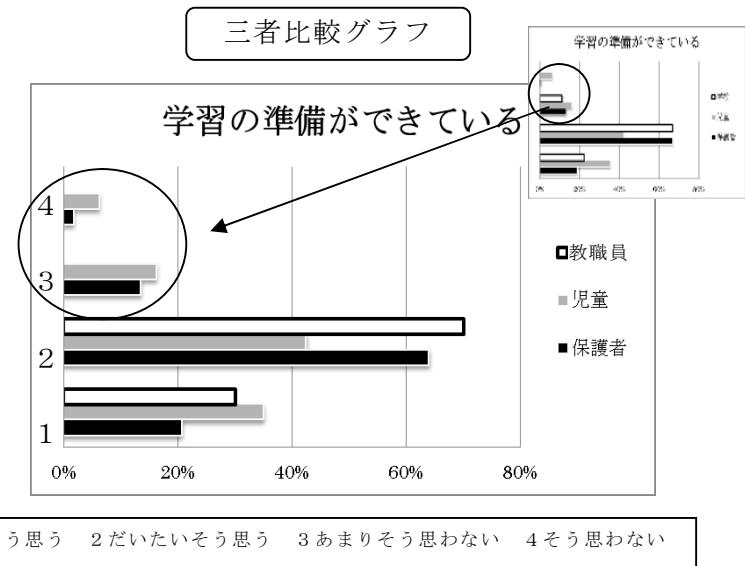
学習についてもわかる授業・興味がわく授業を・主体的に学ぶ授業になるよう工夫をしています。子どもたちが「わかった！」と実感できるよう今後も取組を進めていきます。ご家庭でも引き続き授業に進んで参加するよう声掛けをお願いします。

生活面について

* 学習の準備ができている

後期も保護者が1割強、児童は2割ぐらいが「忘れ物がある」と回答しています。

忘れ物については、同じ子どもたちが忘れ物をする傾向があります。学校でもはたらきかけをしていますが、学習の条件をそろえる意味でもまた、学習の定着を図る意味でも持ち物や宿題など忘れ物0になるよう取り組んでいきます。



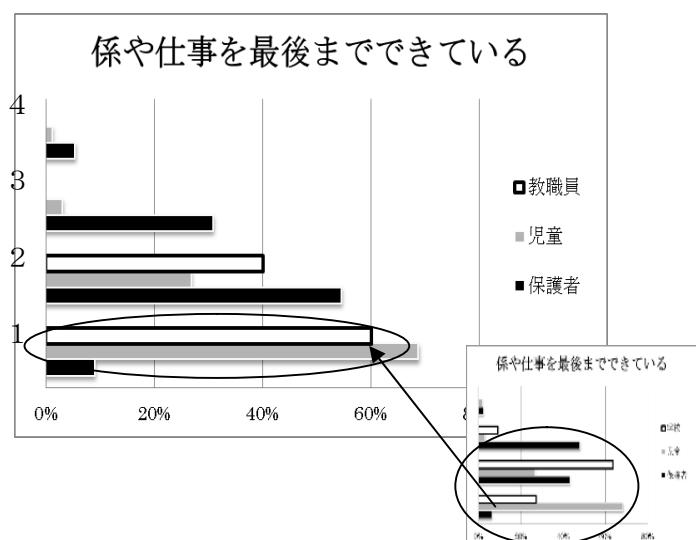
* 係や仕事を最後までできている

係や仕事については、「教職員」の評価が「できている」という回答が27ポイントから60ポイントへと大きく上がりました。

係の仕事や役割など日常の中での子どもたちが責任を持って取り組んでいる場面が増えていることを表しています。

最後まで責任を持ってやりきることを大切にし、これからも取り組んでいきます。

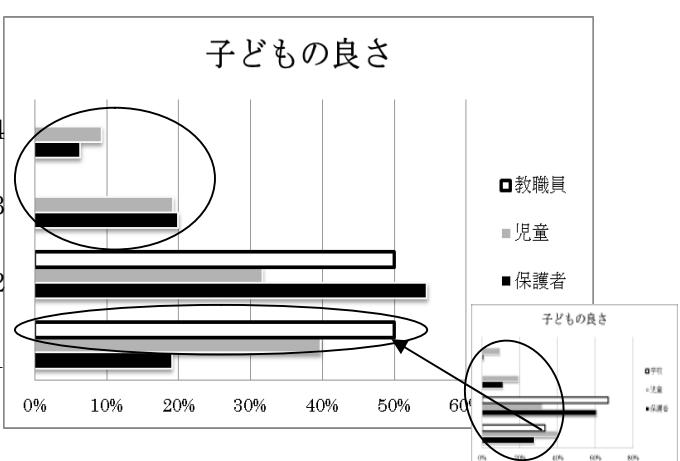
しかし、子どもにより役割を果たすことには差が見られました。ご家庭でも役割を責任を持って果たすよう声掛けをするとともに家庭での役割を決るなど取り組んでみてください。



* 子どもの良さ

学校では、子どもの良さを積極的に伝えるようにしてきましたが、「自分の良いところが言える」という質問に3割弱の子どもたちが「あまり思わない」・「思わない」と後期も回答しており、大きな変化が見られませんでした。子どもたちが自分の良さに気づき自信を持てるような取組を進めていきたいと考えています。

また、しつけたりやらせたりするだけの指導ではなく、子どもたちの良さを積極的に褒め、自信を持って行動できるよう、今後もご家庭とも連携して取り組んでいきたいと思います。



学習面について

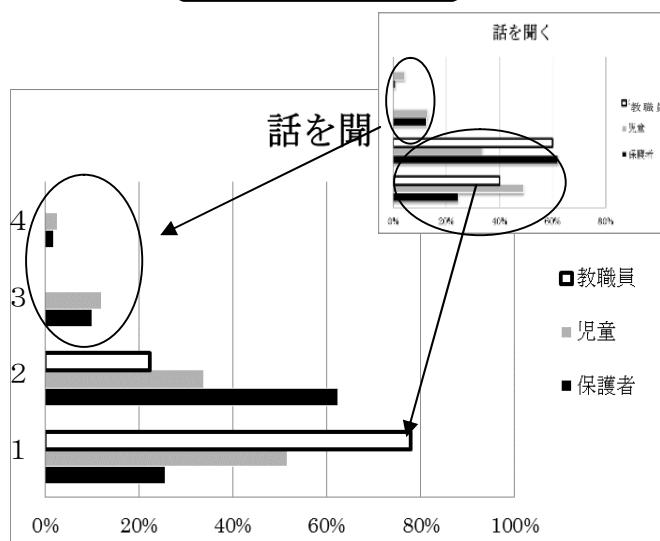
* 授業中、話をしっかりと聞く

授業中、話をしっかりと聞くことは、後期も「できている」「だいたいできている」と回答しています。前期の評価を受け、教職員の働きかけを積極的にしてきました。

しかし、話を聞いていないと回答している児童は2%ほど改善したものの、前期とほぼ同じぐらいでした。

話を集中して聞くことが苦手な児童へ今後も工夫をしながら働きかけをしていきます。

三者比較グラフ



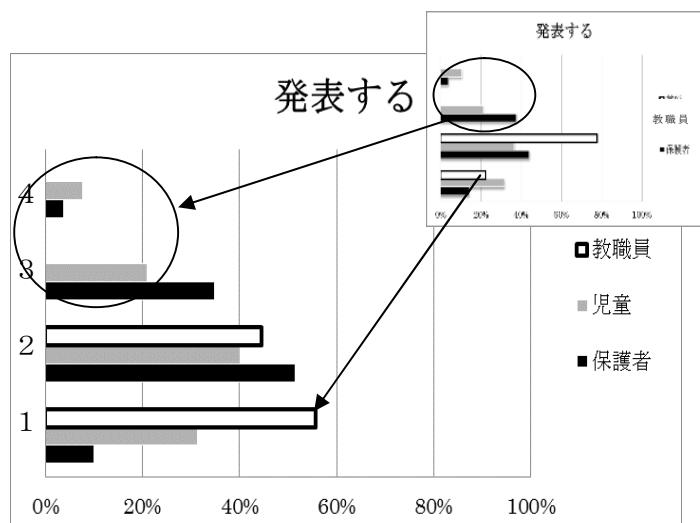
* 授業中、発表している

発表に関しては後期も、3割ぐらいの子どもたちが、「あまりできていない」「できていない」と回答していました。

また、保護者も前期と同じように聞くことに比べ働きかけが少ないと感じておられる保護者が4割ぐらいおられました。

後期に向けて教職員の働きかけを積極的に行ってきました。

今後も発表の苦手な児童に意図的に発表の機会を持ち自ら発表できるように指導を継続していきます。ご家庭でも発表することも大切だということを伝えていただけき、学校と連携した取組を進めていきたいと思います。



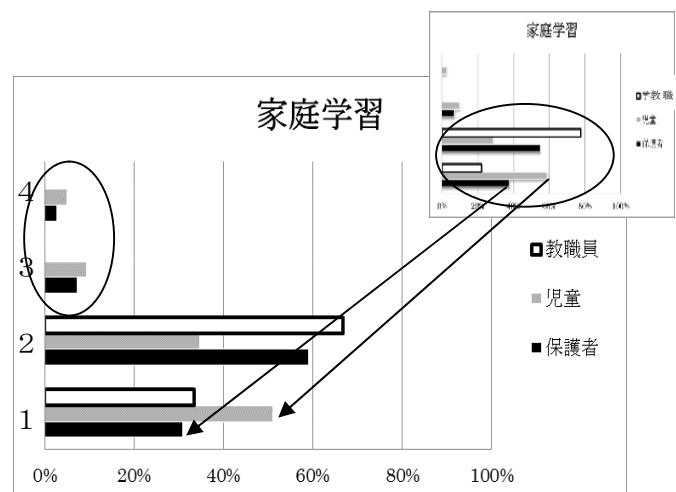
* 家庭学習や宿題をしている

家庭学習については、前期に比べ「そう思う」と回答した児童と保護者が1割弱減っています。1年間の中で、慣れが出てきていてきているようです。

全体としては、だいたいできていますが、学習の習慣確実に付いていることが高学年・中学校に向けて大切になります。

一年間通して家庭学習が確実にできるようご家庭でも声掛けを続けていくことが大切です。

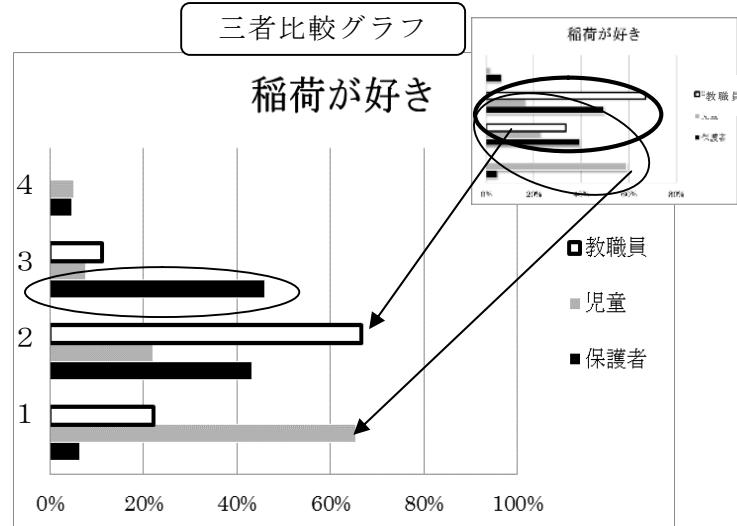
今後も、家庭学習が定着するよう連携を取りながら取組をすすめていきます。



* 稲荷の地域が好き

前期の学校評価を受け、学校では学年に応じて、地域学習や地域の方との交流などの取組を進めてきました。このことで、稻荷の地域が好きにたいして「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した子どもたちが87%と5%増えました。

子どもたちの地域に対する思いを大切にし、保護者とともに稻荷に対する愛着を深め、地域に対する誇りを育てていきたいと考えています。



* 成果と課題

◎ 成果

前期の学校評価を受け、それぞれの項目で改善していくところについては、声掛けや取組を積極的に進めてきました。

全体としては、改善傾向が見られました。また、声掛けをしていただいている保護者も増えてきています。

これからも子どもたちの良さを引き出す取組を家庭とも協力しながら進めています。

・「係や仕事を最後までできている」について保護者や学校の声掛けや働きかけが大きく増えました。自分の役割をしっかりと果していくことは大切なことです。ここ

◎ 課題

いろいろな取組において、1割から3割ぐらいの子どもたちが前期と同じように3「あまりそう思わない」、4「そう思わない」と回答しています。

全体としては、改善が見られていますが、3や4と回答した子どもたちに対して、個別の働きかけや取組をしていくことが必要だと考えています。

また、保護者と連絡を取りながら家庭と協力してすすめていくことも必要です。今後も家庭との連携をさらに取りながら子どもたちの良さを伸ばすとともに課題についても協力して取り組んでいきたいと考えています。

子どもの中には、自分自身に自信がもてていない子どもが少なからずいることがわかりました。子どもたちの自尊感情を高め、自信をもたせるために、子どもたちに成功経験を積ませていきたいと考えています。

また、しかるだけの指導ではなく家庭と連携する中で「できるようになったこと」「わかるようになったこと」などを認め、褒める場を増やすことで自信につなげていこうと考えています。

自信がもてる子どもたちは自ら進んで様々なことに積極的に取り組むようになっていきます。ご家庭でも子どもの話を聞き、良さを認めながら学校と連携して子どもの良さを伸ばしていきたいと考えています。

◎ 責任感を育む

掃除やクラスの当番等一人ひとりの子どもたちはクラスの中で役割をもっています。また、縦割り活動を通して異学年の中で自分の役を果たすことにも取り組んでいます。4年生以上では、校外学習などで役割分担と責任を果たす取組の充実を図っていきます。

日常生活の中で、自分の役割や責任を自覚し、最後までやりきることを徹底して取り組んで

いこうと思います。また、ご家庭でも子どもたちにできる役割を考え、子どもたちがその責任を果たしていけるようご協力をお願いします。

◎コミュニケーションを広げる

子どもたちは、聞くことと話すことに差が見られました。授業の中では、聞くことも話すこともどちらもとても大切です。学校では、「声の物差し」を示し、話すときの声の大きさを場に応じて変える目安を表し、相手意識をもって話すように指導しています。聞くときは、耳だけではなく目や心も使って「聴く」ことにも力を入れています。

また、学習の中でグループ学習を行い少人数で話し合うことにも取り組んでいます。

聞くこと話すことを通して子どもたちのコミュニケーション能力を育てていきたいと考えています。

◎学習の習慣を付ける

授業がわかると答えた子どもたちが9割以上います。毎日の学習の中では様々な工夫をして子どもたちの興味関心を高めるとともに学ぶ意欲を引き出し、自ら学ぶ力を育てようと取り組んでいます。

次代を担う子どもたちにとって学習の習慣を付けることはとても大切なことです。家庭の中で自ら学習していくよう今後も学校と家庭が連携し、学習習慣が付いていくよう取組をしていきます。

皆様から頂いた学校評価をもとにこれからの中学校運営にいかしていこうと考えております。頂いたご意見を今後の取組にいかしていきます。また、学校・保護者のさらなる連携を深めていきたいと考えております。アンケートにご協力いただきありがとうございました。